



「さめきの夢2023」の栽培地域が拡大します！

「さめきの夢2023」は、令和7年産に一般栽培が始まり、約80haで作付けされました。令和8年産はさらに栽培地域が拡大し、**約700haで作付予定**です。令和9年産には、従来品種「さめきの夢2009」からの**全面切替を予定**しています。

	令和7年産 (令和6年播き)	令和8年産 (令和7年播き)	令和9年産 (令和8年播き)
作付面積	一般栽培開始 (約80ha)	栽培地域拡大 (約700ha)	全面切替 (約2,500ha)
生産地域		綾歌南部カントリー管内 飯南・岡田カントリー管内 「さめきの夢2023」種子生産者の一般栽培	県内全域

「さめきの夢2023」とは

「さめきの夢2023」は、現行の主力品種「さめきの夢2009」の後継品種です。**大粒**で容積重が改善されたことから、品質評価のランク区分がAランクになる可能性があり、より**高い数量払の単価**での交付が期待できます。また、製麺性が向上しています。

このことから、生産者にも実需者にもメリットのある品種です。

さめきの夢2009	さめきの夢2023
・収量が多い ・容積重が軽い ・麺色が優れる ・麺のコシがやや弱い	・大粒で容積重が重い ・麺の適度なコシ ・製麺性が良好

令和7年産麦類の状況について

生育の概況

11月～3月にかけて、**近年に比べると低温傾向**であったため、生育が遅くなりました。

11月～4月は**少雨傾向**であったため湿害の発生は少ない状況でした。



収 量

生育期間に雨が少なく順調に生育したため、各品種とも**収量は平年並み**の見込みです。収穫期にあたる6月上旬は、平年に比べ降水量が多く、収穫の遅れが発生したほか、一部では収穫を断念したほ場もありました。

表：品種ごとの推定収量（令和7年6月23日時点、農業生産流通課調べ）

品種名	さめきの夢 2009	さめきの夢 2023	はるみずき	イチバンボン	はるか二条
推定収量(kg/10a)	383	362	401	374	470

品 質

生育が平年より遅れたこと、**収穫時期に雨**が多かったこと等が原因となり、早刈りによる**未熟粒、雨による退色**が発生しました。特に収穫が遅かった場合に品質の低下がみられ、長く雨にあたったほ場では穂発芽も見られました。また、赤かび病については、開花期以降、一定の降雨がありましたが大きな被害はない見込みです。



ドローンによる麦の追肥作業に助成します

「さめきの夢」等の県産麦について、実需者ニーズに即した品質と収量の確保を図るため、**ドローンによる追肥作業を実施する場合**に、その経費の一部を助成します。

- 事業名 **令和7年度「さめきの夢」等県産麦生産向上対策事業**
- 事業実施主体 香川県農業協同組合
- 補助対象
 - ・対象者 認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、種子生産者
 - ・対象作物 **小麦、はだか麦、二条大麦**（いずれも種子麦を除く）
- 対象面積
 - ①当該年度にドローン追肥を委託した面積
 - ②当該年度にドローン追肥を自ら実施した面積
 - ※複数回実施した場合は、いずれか1回のみ
- 補助率
 - ①委託した場合………1/2以内（上限2,500円／10a）
 - ②自ら実施した場合…1/2以内（上限1,250円／10a）
 - ※予算の範囲内において補助を行うため、申請面積が多い場合は補助率が下がることがあります。

【お問い合わせ先】 お近くのJA香川県各営農センター農産課

県内の令和7～8年度の「連作障害回避の取組例」について

国の水田政策が令和9年度から見直され、水田を対象として支援する水田活用の直接支払交付金（水活）を作物ごとの生産性向上等への支援へと転換します。そのため、令和9年度以降は、「5年水張りの要件」は求められません。また、**令和7～8年度の「5年水張りルール」の見直し**として、次の要件のいずれかを行ったことが確認できれば、水稻作付けを行ったとみなされます。

①たん水管理（水張り）を1か月以上実施

②令和7年度または令和8年度に、連作障害を回避する取組を実施

いずれか

連作障害を回避する取組例

- 土壌改良資材の施用
- 有機物（堆肥、もみ殻等を含む。）の施用
- 後作緑肥の作付け
→ソルガム、ヘアリーベッチ、レンゲ等の作付け
- 土壌に係る薬剤の散布（土壌伝染性病害の防除）
- 病害虫抵抗性品種の作付け

○土壌改良資材・有機物の例

（県内の麦類栽培しおり・大豆栽培こよみより）

作物	資材名	作物	資材名
麦類	ユーキ鉄ケイカル	大豆	苦土石灰
	苦土石灰		牛ふん堆肥
	牛ふん堆肥		

※施用基準量はそれぞれのしおり・こよみを参考にしてください。

令和7年度水田機能維持・活用促進事業

水田での麦単作面積の増加に伴い、連作障害による生産性低下等が課題となっていることから、水田機能を維持するための取組みや連作障害を回避する取組みを支援します。

支援メニュー	対象作業	交付単価（10a当たり）	申請先
水田機能維持に対する支援	・畔塗作業 ・ポンプによる取水	各作業 15,000円以内 ※別途JA香川県の上乗せ有	市町農業担当課
NEW! 連作障害回避に対する支援	・酸性障害回避の取組み ・土づくりの取組み ・土壌伝染性病害対策 ・土壌伝染性病害抵抗性麦種への転換	いずれかの作業 1／2以内（上限3,000円） ※JA香川県の上乗せを含む	JA香川県各営農センター農産課、ふれあいセンター等

注）対象農地1筆につき、支援メニューのいずれかの実施を支援します（併用はできません）。

【お問い合わせ先】香川県 農政水産部 農業経営課 農地マネジメント推進室 TEL:087-832-3408

令和7年度「おいでまい・さめき米」品質・食味コンクール出品募集

香川県のオリジナル米である「おいでまい」など県産米の品質・食味のより一層のレベルアップを図ることを目的に開催します！

出品要件・方法

- 出品者は香川県内に所在し、対象品種（県内産）を栽培する者として。
- 出品は1経営体につき部門ごとに1点に限ります（令和7年産米）。
- 提出物※は、**玄米1kg（「おいでまい」部門は2kg）**です。
（※提出物は返却しません。玄米で提出できない場合、乾燥調製したもみを提出。）
- 出品申込書に必要事項を記入し、所定の出品期日までに最寄りのJA香川県各営農センター農産課、または、JA香川県ふれあいセンターにご提出ください。



申込書はこちら

開催部門・出品期日



令和7年
10月17日(金)



令和7年
11月10日(月)

高品質でおいしいお米を生産しましょう!

これから水稻の収穫シーズンを迎えます。今後、高温が続くと収穫時期が早まる場合もあります。以下の点に留意して適期収穫に努めましょう。



1 収穫前の早期落水は避ける。

落水時期が早いと、未熟粒の発生を助長し、粒張りを悪化させます。

落水は収穫作業に支障のない限り遅らせ、早期落水は避けましょう。

※落水とは・・・収穫の7日前頃からほ場の水を抜き、コンバイン作業等に支障のない程度まで田面を乾かすこと。ただし、天候やほ場によって水を落とし始める時期は変えます。

2 適期に収穫する

適期より早く収穫すると「青米」や「未熟粒」が増え、刈り遅れると「茶米」や「胴割れ米」が発生するなど、外観品質が低下し、食味も低下します。**もみの熟れ具合を確認し、適期に収穫しましょう。収穫後は速やかに乾燥・調製作業に移してください。**



黄変もみ



淡緑色もみ

収穫適期の判定方法

- ①平均的な株の中で最も背の高い穂を手ですごき、白い紙などの上に広げる。
 - ②「黄変もみ」と「淡緑色もみ」を数える。中身が無いもみは数えない。
 - ③全もみ数に占める黄変もみ数の割合により、収穫適期を判定する(表)
- ◎計算方法：
黄変もみ数÷(黄変もみ数+淡緑色もみ数)×100
＝黄変もみ率(%)

表：収穫適期時の各品種の黄変もみ率

区 分 (田植え時期の目安)	早期栽培 (5月中旬までの田植え)	短期栽培 (5月中旬以降の田植え)		普通期栽培 (6月の田植え)	
品 種	コシヒカリ	コシヒカリ	あきさかり	ヒノヒカリ	おいでまい
黄変もみ率(%)	85～90	80～90	85～90	80～90	85～90

田んぼダムに取り組んでみませんか?

田んぼダムって?

田んぼがもともと持っている水を貯める機能を利用して、大雨時に一時的に雨水を貯めるよう、水田の排水口に排水量を抑える**専用のせき板**※を設置することで、ゆっくりと水田から排水が行われ、地域の浸水被害を軽減する取り組みです。

※専用せき板は無料配布中です。



取り組んでいただける組織に対し

◆**香川県田んぼダム推進事業**で

○排水せき管理費用(500円/1区画)
⇒交付は1回限り

○畦畔補強(畔塗)費用1/2

○畦畔復旧 費用1/2

⇒事前申請が必要

◆**多面的機能支払交付金**に取り組んでいる活動組織において、資源向上活動(共同)の対象田面積の1/2以上が田んぼダムに取り組む場合、田面積に対して400円/10a※の加算もあります。

※活動5年目以降または長寿命化組織については300円/10a

田んぼダムお問い合わせ先

香川県農政水産部土地改良課 農業基盤整備グループ TEL:087-832-3438

香川県農政水産部農村整備課 農村環境グループ TEL:087-832-3449

香川県 田んぼダム 検索



内容に関するお問い合わせ先

香川県農業協同組合中央会 総合対策部 総合対策課 TEL:087-825-2503

香川県農業協同組合 営農部 農産課 TEL:087-818-4104

香川県 農政水産部 農業生産流通課 TEL:087-832-3418

香川県農業再生協議会ホームページ <https://www.saiseikyo-kagawa.jp>